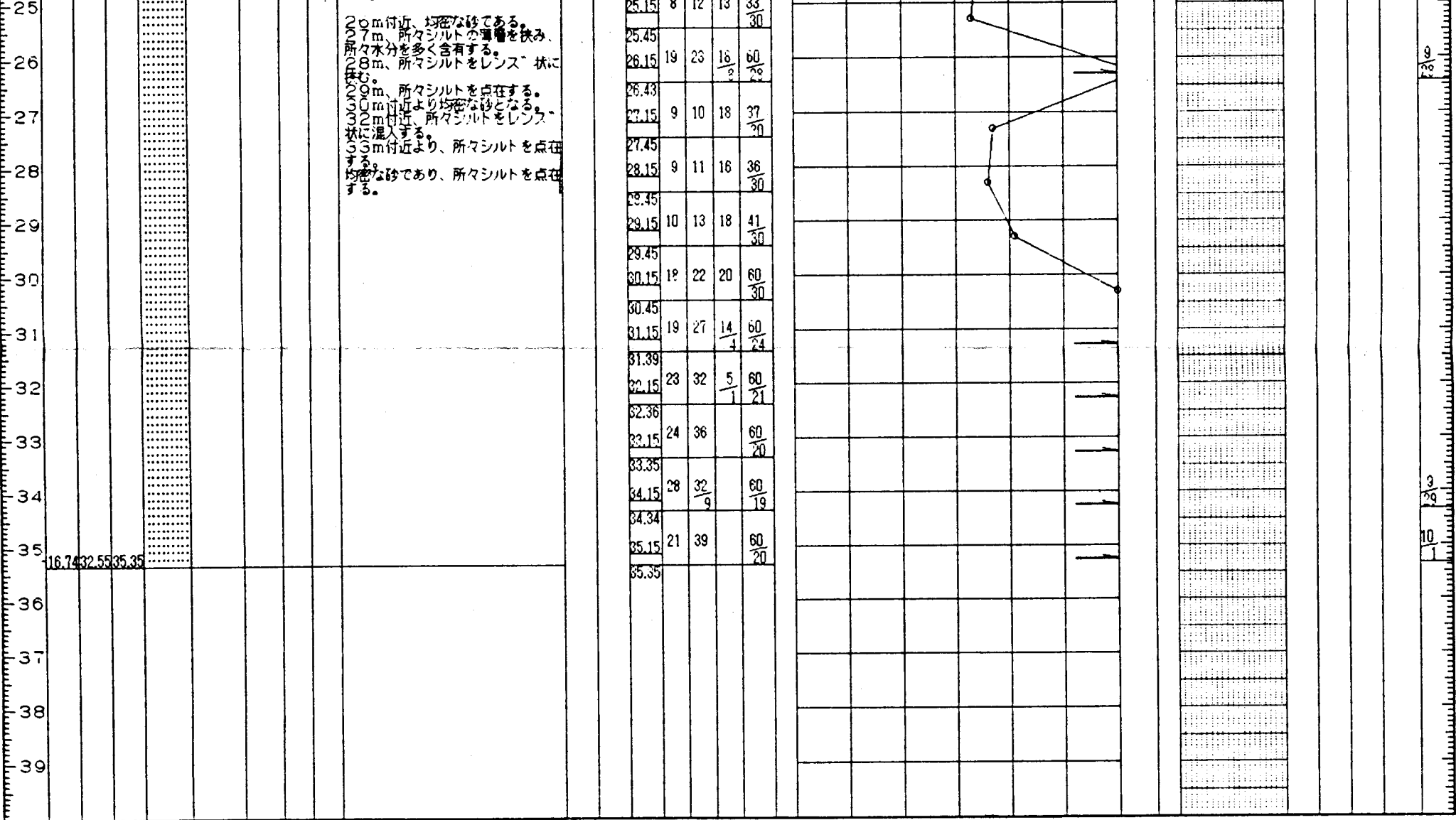




ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市動物保護指導センター地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 2		調査位置					北 緯	35° 39' 30.0"			
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課					調査期間	平成 2年10月 1日～ 2年10月 4日		東 経	140° 6' 20.0"		
調査業者名	主任技師					現 場 代 理 人	コ ア 鑑 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	+18.51	角	180° 上 90° 下	方 向	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤為配	水平 90°	使用機種	試錐機	B R S 1 5 0	ハンマー 落下用具	トンビ
総掘進長	35.36m	度						エンジン	Y A M M A N S 7 5	ポンプ	カノールV5-P	

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		掘進月日
										深 度	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 ／ 貫入量	N 値	深 度	試験名 および結果	深 度	採取方法	
(m)	(m)	(m)	(m)						(m)	(m)	0 10 20	(cm)		(m)		(m)		
1				埋土	暗褐色			全般にロームが主の埋土である。 所々葉、木片等を混入する。		1.15	1	1	2					
2										1.45	1	1	2					
3	15.81	2.70	2.70	ハハハハ	淡黄褐色			全体に若干粘土化している。 所々腐植物を混入する。		2.15	1	1	2					
4	15.21	0.60	3.30	ハハハハ	淡黄褐色			4m付近所々若干シルト分を混入する。		2.47	0	1	1					
5								5m付近より黄褐色となる。		3.15	0	1	1					
6								所々茶褐色を挟む。		3.45	0	1	1					
7								7m付近より茶褐色となり、所々黄褐色を挟む。		4.15	2	1	2					
8								8m付近黄褐色となる。		4.45	1	1	2					
9								9m付近より暗黄灰色となり、所々茶褐色を混入する。		5.15	4	5	5					
10								10m付近所々茶褐色を挟む。		5.45	4	5	6					
11								11m付近より小礫を点在し、雲母片を混入する。		6.15	4	5	6					
12								12m付近小礫を点在し、所々黄褐色の薄層を挟む。		6.45	7	10	12					
13								13m付近シルトを点在する。		7.15	7	10	12					
14								14m付近所々シルトの薄層を挟む。		7.45	3	10	11					
15								15m付近所々茶褐色を挟み、雲母片を混入する。		8.15	3	10	11					
16								16m付近より均密な砂となり、所々茶褐色を挟む。		8.45	7	8	9					
17								17m付近茶褐色となる。 (固結状を呈する。) 中砂を挟む。		9.15	7	8	9					
18								18m付近より暗黄灰色となり、雲母片を混入する。		9.45	8	9	10					
19										10.15	8	9	10					
20								20m付近より均密な砂となる。		10.45	6	9	11					
21										11.15	9	10	11					
22										11.45	9	10	11					
23								23m付近貝殻片を多量に混入し、淡黄灰色となる。		12.15	10	11	13					
24								24m付近所々シルトをレンズ状に挟む。		12.45	10	11	13					
25								25m付近シルトを点在する。		13.15	10	11	13					
										13.45	6	6	10					
										14.15	9	12	13					
										14.45	12	15	23					
										15.15	19	8	8					
										15.45	7	8	9					
										16.15	10	11	15					
										16.45	18	23	19					
										17.15	20	28	12					
										17.45	21	27	12					
										18.15	21	30	9					
										18.45	8	12	15					
										19.15	9	10	17					
										19.45								
										20.15								
										20.45								
										21.15								
										21.45								
										22.15								
										22.45								
										23.15								
										23.45								
										24.15								
										24.45								
										25.15								

[illegible]

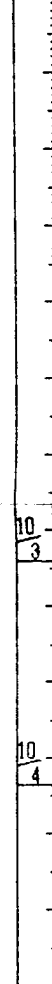
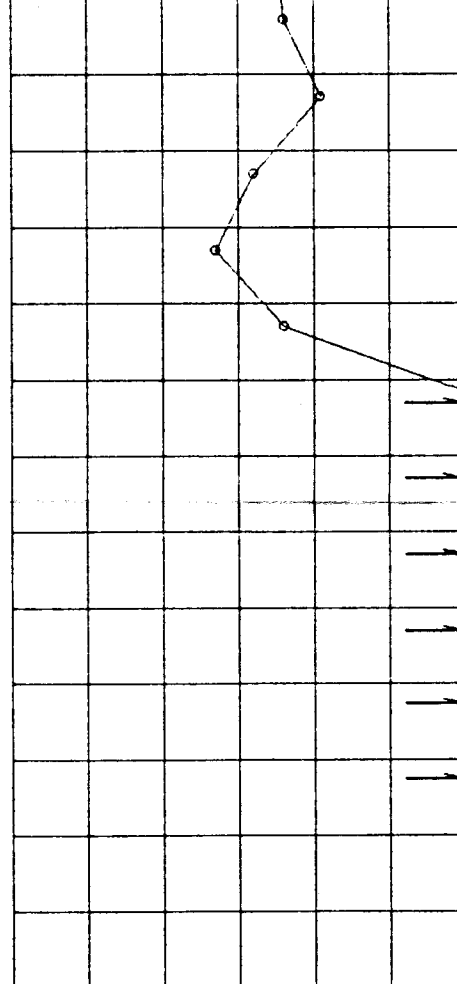
27m付近より暗黄灰色となり、シルトを点在する。

28m付近所々シルト分を若干混入し、水分を多く含有する所がある。

29m付近所々黒灰色をレンズ状に挟む。

30m付近より均密な砂となり、所々シルトを点在する。
全般に均密な砂であるが、所々シルトの薄層を挟む。

35m付近所々シルト層を挟む。
層厚20~30mm位である。
又、粗砂を挟む。



ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市動物保護指導センター地質調査業務委託

ボーリングNo. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 3		調査位置	千葉市宮野木町445番地1他		北緯	35°39'30.0"		
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課		調査期間	平成2年10月2日～2年10月4日		東経	140°6'20.0"		
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	+22.49	角	190°上	方	北	試錐機	BRS50	ハンマー	トンビ
総掘進長	27.27m	度	90°下	向	西	エンジン	YAMMANS 75	ポンプ	カノーV5-P

